

※以下は要約文となりますので、詳細は配信動画等をご覧ください。

【11月補正予算案知事記者会見】 11月18日

● 令和7年度11月補正予算案

補正予算額は55億円。補正予算額の内訳は、人件費35億円、通常補正20億円。人件費の増額は、人事委員会勧告を踏まえ民間給与に合わせるため。通常補正分20億円の内訳は、災害対策7億円、通常補正13億円。災害対策の予算は、令和7年度に起きた災害に対する市町と調整がついたもの等を計上。

さがすたいるアウトドアフェス開催事業

本県は、お互いの想いに寄り添ってしぜんに支えあう佐賀らしいやさしさのカタチを「さがすたいる」と称している。これに基づき、誰もが一緒に楽しめるイベント、さがすたいるフェスを開催してきた。今年3月に吉野ヶ里でキャンプを予定していたが、荒天で中止になった。来年3月のスノーピークグラウンズ吉野ヶ里の開業に合わせ、再度開催予定。

プラプラ開設準備事業

九州北部は海洋ごみの漂着地。2050年には海洋プラスチック流出量の累積が、魚より多くなるという試算もある。そこで、地域が連携しながら一人一人の行動変容を促すような事業。

来年6月オープン予定の世界海洋プラスチックプランニングセンター（通称プラプラ）の開設準備をする。施設では、回収、分別・原料化、再生・デザイン、体験・展示までの一連の流れを体験できる。特に将来を担う子供たちに、この問題に気づいてもらいたい。

修学旅行や企業研修向けに、エリア全体を周遊し、海洋プラスチック問題を考えるという着眼点でのモニターツアーや旅行商品造成のための事業。

来年度の債務負担行為だが、今年度から施設案内標識の製作などの準備作業を始める。

ネストヴィレッジ(仮称)整備事業

「ネストヴィレッジ」はサガン鳥栖U-15の育成拠点の名称。場所は、鳥栖市民文化会館横の産総研から県に返還された土地。練習グラウンド、管理棟、スポーツ医科学施設で構成予定。スポーツ医科学施設と管理棟は、設計が完了したので工事をする予算。

スポーツ医科学施設は、スポーツに特化したクリニック。専門的知見に基づき、けが

の予防や治療、日常的にアスリートのサポートを行うモデル的な施設。賃料収入でグラウンドの維持管理費を賄えるようにしたい。

管理棟には、トレーニングフロア、シャワールーム、ロッカールーム等を整備する。棟内には「栄光の軌跡」として、サガン鳥栖の歴史に触れられる展示エリアも作る。

練習グラウンドは、来年４月に供用開始予定。ネストヴィレッジが誕生すれば、SSP構想の大きな起爆剤になる。U-15 は高円宮杯本戦への出場も決定し勢いづいている。育成という原点を大切にすればトップチームも上を目指せるだろう。

介護テクノロジー導入支援事業

介護の現場では、重労働による身体的負担と ICT 化の遅れによる事務負担が大きく、人材の確保・定着に苦慮している。現場の声を踏まえ、今年９月に「さが介護業務効率化サポートセンター」を開設。機器の試用、研修会、導入の伴走支援などでサポートしている。

今回は補助金予算を増額し、移乗ロボットや入浴支援機器、夜間見守りセンサーの導入を支援し現場の負担軽減を図る。補助率４分の３、１.６億円の予算を計上した。

その他 主なもの

・精神保健医療費

精神疾患のある人の通院等による医療費の支援を増額。

・高等教育修学支援事業

３人以上の子どもがいる多子世帯を対象に、私立専門学校への進学費用（授業料・入学金）を支援する。当初の予想より利用の見込みが増えたため増額した。